

令和5年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (平成2年度策定)	1年間の目標	具体的な方策 各グループ重点目標	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、児童生徒の発達段階に応じた系統性のある教育課程を編成する。	①学部間の教育課程の系統性を検証・整理し、社会参加を見据え、発達段階に応じた教育内容の充実を図る。(継続) ②ICT機器の活用の推進と学習教材、授業例の充実を図る。(継続) ICT機器の活用事例について発信を進める。	①発達段階に応じた教育内容の系統性について学部・部門で発達段階に応じた内容をまとめる。そのうえで学部・部門を超えて組織的に整理を進め、全校で系統性のある教育内容を考え実践する。 ②研修等を行うことで、ICT機器活用に対する教職員の理解を深めると共に、ICTを活用した教材や授業例を共有し、授業改善につなげる。ICT機器の活用事例をホームページや学年通信等で保護者や地域に伝わるようにする。	①学部間のつながりを示しつつ、学部・部門を超えて組織的に整理を進め、系統性のある教育内容の実践につなげることができたか。 教務G/教務U(研究研修T) ②ICT機器を効果的に使用した授業を各学部で実践することができたか。ICTを活用した事例を全職員で共有するとともに、保護者や地域に発信できたか。 総務G/情報管理T、教務G/教務U、(連携支援G/広報渉外T)
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	障害や発達に関わるニーズに応じた適切な教育支援を行う。	①医療的ケア児の実態に応じた通学支援の方法を確立する。(継続) ②校内環境整備や防災整備を進め、誰にとっても分かりやすく、活動しやすいようにする。(継続)	①スクールバスや福祉車両を使用した医療的ケア児の通学支援を試行し、課題を整理するとともに、関係機関との連携を強化し、手続きの円滑化を図る。 ②校内の安全な環境整備を進める。また、発災時の避難経路の表示を工夫して、避難しやすくする。	①学校の現状を踏まえた通学支援のあり方を示し、それを推進するために関係機関との連携を強化することができたか。手続きの円滑化を図ることができたか。 指導健康G/GL・医療的ケアT ②安全な校内環境を整備することができたか。避難経路がわかりやすく、避難がしやすいようにすることができたか。 総務G/GL・環境安全T
3	進路指導・支援	児童生徒一人ひとりの生きる力を育むためのキャリア教育を推進する。	①卒業後の社会生活を見据えた進路学習の系統性を整理する。(継続) ②全職員が進路指導・支援の現状や課題を理解するとともに、進路担当と協働する場面を増やす。(継続)	①卒業後の生活について教職員の理解を深めるため全職員を対象とした研修等を実施する。各学部で実践している進路学習等を系統的に整理する。 ②進路指導・支援に係る現状・仕組みの学びの機会を設け、職場開拓やアフターフォローなどを進路担当と協働する。	①全職員対象の研修で理解が深まったという結果が7割以上になったか。進路の手引きの活用と共に、小学部から高等部までの進路学習等を系統的に整理することができたか。 教務G/教務U、連携支援G/進路支援T ②進路支援に対する全職員の理解が深まり、全職員による協働が進んだか。 連携支援G/進路支援T
4	地域等との協働	インクルーシブな社会の形成に向けたセンター的機能による発信と協働の充実を図る。	①地域との協働事業等を充実させ、児童・生徒が地域と相互理解を深めることのできる教育活動の充実を図る。(継続) ②障害のある児童・生徒が地域で実態に応じた教育を受けられるよう、地域の学校の特別支援教育に係る専門性の向上を図る。(継続)	①ボランティアなどの受け入れ体制整備に向けた条件整備を行う。また、地域資源の活用に向け、各団体との新しい連携体制を構築する。 ②本校のセンター的機能について幅広く情報発信し、地域の学校への支援を通じ、一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた指導を多くの教員が考えられるように助言していく。	①ボランティア受け入れ体制が整備され、実働できたか。各団体との新しい連携が進んだか。 連携・支援G/広報渉外T ②ホームページやチラシ配付などの情報発信を通して、地域の学校で教育的ニーズを踏まえた教育実践を実現することができたか。 連携・支援G/地域支援T・広報渉外T

	視点	4年間の目標 (平成2年度策定)	1年間の目標	具体的な方策 各グループ重点目標	評価の観点
5	学校管理 学校運営	信頼される学校づくりの推進のため、安全で安心できる指導体制及び管理体制を進める。	<p>①情報発信の在り方を検討し、児童・生徒の学習活動や学校の取組の発信を進める。(継続)</p> <p>②働き方改革に向けた業務改善の推進に取り組む。(継続)</p> <p>※事故不祥事関係は、不祥事ゼロプログラムにて充実させることを周知する。</p>	<p>①ホームページや配付物による情報発信の在り方を整理し、保護者や地域の方に必要な情報が正しくわかりやすく迅速に伝わるようにする。</p> <p>※安心・安全な学校づくりに関し、感染症対策についても適宜情報を伝える。</p> <p>②再編成されたグループ組織での業務推進を通し、組織改革の結果をいろいろな角度から検証する。</p>	<p>①ホームページや配付物による学校から保護者等や地域の方に向けた正しくわかりやすく迅速な情報発信について、保護者等からの評価が向上したか。</p> <p>連携・支援 G/GL・広報交流 T、総務 G/GL</p> <p>②業務の平準化、効率化、スリム化によって再編したグループ組織について、それぞれのチームで検証し、改善点を洗い出して次年度につなげることができたか。</p> <p>管理職、全グループ</p>